

「平成 20 年度留学生インターンシップ」活動報告

留学生インターンシップは、平成 18 年に県内で留学生の多い 3 大学と会員企業 9 社で連携しスタートした。その後、2 年で大学・企業を少しずつ拡大し、今年度は、県内 6 大学と会員企業 13 社と連携、実施留学生は 30 名となった。11 月 14 日(於:ホテルコンチネンタル横浜)には、今夏インターンシップを実施した留学生を中心に「第 3 回留学生インターンシップ発表交流会」を行い、留学生・企業担当者からこれまで以上に充実したインターンシップであったことが発表された。

「留学生インターンシップ」年間活動報告

< 企業説明会 >

6 月 26 日(木)、横浜国立大学・教育文化センターで授業終了後の夕刻に開催。横浜国立大学の留学生を中心に約 60 名の方が参加。全受入企業担当者からそれぞれ実施カリキュラム等の説明、その後、留学生一人一人が企業担当者と直接話しをし、学生から応募用紙の提出。

< 相談会 >

今年度の新たな取り組み。事務局で対応の「相談会」を 6 月 28 日(土)に東海大学で「地理的に説明会への参加が厳しい」「授業で参加ができない」といった留学生の為に実施し、6 名の学生が参加。今後、来年度以降の実施方法を検討。

< インターンシップ実施 >

8 月～9 月中旬までの期間で実施。3 年目となり、各企業でより留学生の希望に沿えるよう工夫されて実施している。実施カリキュラムはじめ受入職場への対応など実施留学生全員がアンケートで「満足」と回答。

インターンシップ期間中、事務局で実施現場にお伺いした際に留学生とお話しすると「こんなに勉強になるとは思わなかった。まだ留学生インターンシップを知らない留学生が多い。もっと学内で広げたら良い。」といった意見を戴いた。来年度以降、更に連携大学を増やすことも検討中。

< CGA(アジア人財資金構想)との連携 >

経済産業省が昨年秋からスタートした CGA(アジア人財資金構想)の関東地区を委託されている NPO 法人 WIL と連携。

CGA 事業の中のインターンシップについて、CGA 対象留学生は、当協会の受入企業でインターンシップを実施すれば CGA からインターンシップを実施したと認証される。今夏、実施した留学生の内、CGA 対象留学生は 6 名。

「第 3 回留学生インターンシップ発表交流会」

発表は、受入企業 13 社ごと代表発表留学生を中心に、留学生 26 名及び受入企業担当者から発表を戴いた(慶應・早稲田もオブザーバー参加)。



留学生の中には「日本の製造業は、縁の下の力持ち的な企業が真面目に地道に働いているから素晴らしい。又、日本企業は他の国の企業と違う。和を重視して働いている。」と実施したことにより肌で感じたことを力強く語った。

その後、実習風景の映像を放映し、事務局からアンケート結果を報告した。今年度、実施した留学生の 7 割は、日本企業での就職を望んでいる。



(留学生にプレゼントを渡し記念撮影)

発表会に引き続き、留学生との交流を深める交流パーティーを開催した。途中、高橋会長ご自身で選ばれた箱根・寄木細工のプレゼント(男性:シャープペン、女性:かんざし)を留学生へ一人一人手渡された。